

学習課題（中学校 1 年生）



【国語】

<内容>

○教科書の「空を見上げて」（P73～P76）を読んで、気付いたことや考えたことを家の人に伝えよう。（2 週継続）

<取り組み方>

- ① 教科書本文を音読しよう。
- ② 「五・七・五」の句をめぐる四つの出来事について内容をまとめ、それを家の人に伝えよう。

・例) 誰が、何を、どうした、がわかるように簡潔に書いてみよう。

女川の生徒が……、日本各地の人々が……、など。

※①～②に取り組む中で気付いたことや考えたことについて、取組シートに記録しておこう。

※②について、家の人に伝えるのが、どうしても難しい場合は、目の前に家の人がいると想像して、自分の考えを声に出して説明するということでもかまいません。

学習課題（中学校 1 年生）

【社会】

<内容>

【3 回連続で取り組む課題となります。各回で取り組み方が異なりますので、^{しめ}示された方法に沿って取り組みましょう。】

さまざまな視点をもとにヨーロッパ州をとらえる活動を通して、「ヨーロッパ州とはどのような州であるか」について、取組シートやノートにまとめてみよう。（3 回目にまとめます。）

<取り組み方>

EU（ヨーロッパ連合）を中心としたヨーロッパ各国間のつながりに関する歴史と現在の状況、また以前と比較し変化した点などについて、教科書 P70～71 や地図帳を参考にしながら調べ、取組シートやノートに記述しましょう。

<学習のヒント>

まずは、EUとはどのような組織であるかを整理しましょう。その上で、各国間の統合が進むことのよさや課題点に着目してまとめていきましょう。

学習課題（中学校 1 年生）

【数学】

<内容>

文字式を利用して、ストローの本数を求める問題について考えよう
～文字式を利用して考えることのよさは何かな？～

<取り組み方>

- ① 教科書 P82 の Q の悠悟さんの考え方と知佳さんの考え方を、それぞれ「取組シート」やノートに説明してみよう。（家の人に説明してもよいです。）
- ② ①の悠悟さんの考え方で、正方形が a 個のときのストローの本数を求める式をつくってみよう。また、式をつくり方を「取組シート」やノートに書いてみよう。（家の人に説明してもよいです。）
- ③ ①の知佳さんの考え方で正方形が a 個のときのストローの本数を求める式をつくってみよう。また、式をつくり方を「取組シート」やノートに書いてみよう。（家の人に説明してもよいです。）
- ④ ②、③でつくった式をそれぞれ計算し、その結果を比べて、気付いたことを「取組シート」やノートに書いてみよう。（家の人に説明してもよいです。）

<学習のヒント>

- ① 教科書 P60、61 で考えたことを思い出して、考え方の説明をしてみよう。図を使いながら説明すると分かりやすいですね。
- ② 正方形が増えると変化する数はどこかな。正方形が 5 個のとき、10 個のときどんな式で表すことができるか考え、 a 個のときを考えてみよう。式をつくり方の説明は、教科書 P82 の 1 の説明を参考にしてみよう。
- ③ ②と同じように考えてみよう。
- ④ 文字式の計算をしてみると、2 つの式はどうなるかな。

学習課題（中学校 1 年生）

【理科】

<内容>

◆水溶液の濃さを質量パーセント濃度で表してみよう。

<取り組み方>

- ① 溶質、溶媒、溶液の言葉の意味を図や言葉を使ってまとめてみましょう。
- ② 質量パーセント濃度を求める式を確認してみましょう。
- ③ 次の例題に取り組んでみましょう。

(例 1) 水 80g に塩化ナトリウム 20g がとけている。この塩化ナトリウム水溶液の質量パーセント濃度はいくらか。

(例 2) 10% の塩化ナトリウム水溶液 100g には、何 g の塩化ナトリウムがとけているか。

(例 3) 5% の塩化ナトリウム水溶液 200g をつくるには、何 g の水に何 g の塩化ナトリウムをとかせばいか。

<学習のヒント>

- ① 砂糖水や塩化ナトリウム水溶液など、具体的な例も示しながらまとめてみましょう。
- ② 質量パーセント濃度を求める式を変形すると、溶質の質量を求める式ができる。教科書 P252 を参考にしてみましょう。
- ③ 問題文の中に、質量パーセント濃度や溶質の質量、溶液の質量の情報があれば、線などを引いて、求める式に値を入れていきましょう。

学習課題（中学校 1 年生）

【英語】

<内容>

教科書 P34 の「アクションコーナー」に取り組みましょう。

<取り組み方>

★動画を見て取り組む問題です。 <https://youtu.be/fuqZHkaO52o>

- (1) ALT の先生が言う英語が表す絵を、指さしましょう。
- (2) ALT の先生が言う英語を聞いて、その動作をしてみましょう。



挑戦問題

- (3) 次は、ALT の先生が、教科書の絵とは違う英語を言います。
その動作をしてみましょう。
- (4) 教科書①～⑱の絵の動作を表す英語を、英文の書き方に気をつけながら「取組シート（外国語 4 線中学校）」または「家にある英語のノート」に書いてみましょう。

★動画を見なくても取り組める問題です。

- (1) 教科書 P34 の①～⑱の絵を見て、それぞれの動作に合う英語を言ってみましょう。
- (2) 巻末資料⑩の「アクションカード①～⑱」の絵だけを見て、その絵に合う英語を言ってみましょう。カードを裏返して、英文を確認してください。あなたの言った英語と、合っていましたか？
- (4) 教科書①～⑱の絵の動作を表す英語を、英文の書き方に気をつけながら「取組シート（外国語 4 線中学校）」または「家にある英語のノート」に書いてみましょう。

<学習のヒント>

■学習補助教材動画を配信しています。必要に応じてご活用ください。

小学校、中学校で共通して学習する内容を紹介しています。

http://www.city.sapporo.jp/kyoiku/shido/english_hojyo.html

<配信内容>

「名前の書き方」「アルファベットの大文字・小文字」「月」「序数（日付）」
「食べ物」「スポーツ」「国」「色」「教科」「状態」「職業」「日常生活」など



※「取組シート（外国語）」は、札幌市教育委員会ホームページからダウンロードすることができます。

学習課題（中学校1年生）

【技術・家庭科（技術分野）】

<内容>

前回の課題では、ドローンの技術（テクノロジー）は、技術分野の内容A B C Dのどの技術と関わっているのか、まとめました。例えば、
A材料と加工の技術→各部品落下しても大丈夫な素材が使われている。など
Bエネルギー変換の技術→電気、動力が使われている。など
C生物育成の技術→農家では、作業効率を高めたり、生物育成を分析するために活用されている。など
D情報の技術→映像処理やコンピュータプログラムが使われている。などが考えられます。

今回の課題は、身の回りの生活や社会の中にある様々な課題（問題）をこれらのドローンの技術（テクノロジー）を使って、どのように解決することができると思いますか。箇条書きにしてまとめてみよう。

<取り組み方>

取組シート（8mm罫線・横）に記入

<学習のヒント>

- ① 政府広報 Society5.0（ソサエティ5.0）未来の日本の姿
<https://www.youtube.com/watch?v=gevZ2RLW5Yk>
の動画を視聴すると、「ドローン宅配」など、様々な未来の姿が出てきます。
- ② まとめ方の例
〇〇の課題（問題）について、ドローンを使うと〇〇なので課題（問題）が解決すると思う。